

平成30年度第2回狭山市公民館運営審議会会議録

開催日時 平成30年11月15日(木) 午後1時30分から午後4時15分
開催場所 狭山市立中央公民館第1ホール
出席者 井上委員、星委員、小川委員、岡村委員、山下委員、斉藤委員、北村委員、細田委員、名雲委員
欠席者 矢武委員、室岡委員、小林委員、日吉委員、金井委員、有村委員
教育委員会 向野教育長、滝嶋生涯学習部長、杉田生涯学習部次長公民館統括教育総務課長兼務、田中社会教育課長
公民館 内藤中央公民館長、横瀬入曾公民館長、横田水野公民館長、吉田堀兼公民館長、吉崎狭山台公民館長、谷島新狭山公民館長、小池奥富公民館長、忍成柏原公民館長、河口広瀬公民館長、増田水富公民館長、内出中央公民館副館長
市民部 小出市民部長、市民文化課新井地域交流施設推進担当課長
傍聴者 なし
会議の公開・非公開

議題2については、狭山市情報公開条例第7条第4号に該当するため、非公開とした。

1 開会

2 委員長、教育長あいさつ

3 議事

- (1) 各公民館の平成30年度上半期の事業報告について資料に基づき各公民館長から説明

委員 事業報告を受けて、改めて各サークルの高齢化、団体会員数の減少に気付かされた。このような状況で何をなすべきか、それが公民館の課題であろう。

一方、関係団体等と共催するなど、創意工夫して少人数の職員で多くの事業を実施しているのは良い。大変であるが、そこで得られた人材を逃がさず取り込んで公民館のために役立ててほしい。

委員 公民館事業は、地域住民を繋いでいると改めて感じた。

わたしは、学校教育に携わる立場で選出されている。

子どものために色々な事業を実施してもらいたい。今回、寺子屋という事業が目についた。本来、学力は学校でつけるものと考えていたが、公民館が夏季休業中に、子どもが学校を離れたときに学習する場を提供してもらいたい。狭山台公民館は事業の回数も多く、参加

する子どもも多いので学校にとっても参考にさせてもらう。子どもたちが学校を離れたところでフォローをしてもらってありがたい。

来年度から柏原小学校、入間川小学校でコミュニティスクールを開始する予定である。地域の人材を活用して学校教育も進んでいくと思うので公民館とも連携してやっていきたい。

委員 学童指導員として委員に選出されているが、学童保育室に各公民館の情報が届いていない。近隣であれば情報も得られるが、他はわからない。情報があれば子どもたちを参加させてもらうことができる。学童は地域で過ごすと考えている。

映画会などは学童の都合に合わせてもらいたい。学童保育室にも情報の提供をお願いします。

(2) 「狭山市立公民館・狭山市地区センターの狭山市地域交流施設（仮称）への再編に関する計画（案）」について資料に基づき市民部市民文化課地域交流施設推進担当課長から説明

(3) その他

・公民館のブロック塀の安全確認及び水野公民館駐車場外構改修工事について口頭で生涯学習部次長公民館統括教育総務課長兼務から説明

委員からの質問、意見並びに他の議案の提案及び意見なし

4 その他

(1) 入間公連研究集会の予告について

(2) 第3回狭山市公民館運営審議会開催時期について

(3) 委員のひとりから11月11日（日）に実施した茶の里ウォーキングの結果報告及び協力のお礼の言葉があった。

5 閉 会